

第4回ワークショップ（令和7年11月8日開催） 「気候変動対策のアイデアを考え、伝えるスキルを身につける」

講義「プレゼンテーション概論」

いよいよ次回が最終回となりました。最終テーマである気候変動対策アクションのアイデアを具体化する前に、行動変容を起こすためにはどのような内容にすればよいか、考え方のポイントを整理するため、講義「プレゼンテーション概論」を受講しました。

プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションの目的や効果を理解し、聞いた人に行動変容に起こしてもらうには、どういったポイント、順番、内容で話す必要があるのか、理解を深めるため、実践を交えながら学びました。



グループワーク 「私たちができる気候変動対策アクション」

プレゼンテーションの重要さやポイントを理解した上で、グループワークで「私たちができる気候変動対策アクション」のアイデア出しを行いました。

ただアクションを考えるのではなく、だれに対して訴えるか、どう訴えれば行動変容が起こるか、より具体的に想像しながら考えることを意識してアイデアを出し合いました。

参加した高校生からは次のようなアイデアが発案されました。

1.市民へ向けて

- ・本当に今後、自分に必要なかを考えて物を買うようする。
- ・すぐに消費するものは、賞味期限・消費期限が近いものを買って食べるようになる。
- ・国産のものを意識して購入する。(流通によるエネルギーの軽減につながる)

2.同じ年代(高校生)へ

- ・海岸清掃に参加することで意識改革を生み出す。

3.自治体・企業などへ向けて

- ・ロードコーンの欠片もマイクロプラスチックの原因になるので市政でしっかり管理する、素材変更を検討する。

4.家庭内へ向けて

- ・歩くことで自然に触れる機会を持つ。
- ・自動車の利用を控える(すぐに車を使う判断をしない)
- ・照明、エアコンなどの節電

